ActionBotのアクションタイプ

概要

アクションボットアクションにより、WalkMeの展開可能なものをトリガーし、接続を呼び出したり、新しい会話を開始したり、会話データを保存したり、割り当てられた会話中にウェブ統合を作成したりすることができます。

ここでは各アクションタイプおよびその予想される結果について学習します。

アクションタイプ

スマートウォークスルーを再生する

ActionBotと同じEditorシステム内でSmart Walk-Thruをトリガーします。

このアクションタイプでは、ユーザーが会話中にActionBotに提供したデータとともに選択したSmart Walk-Thruを再生します。

スマートウォークスルーの詳細については、こちらをご覧ください

アンケートを再生する

ActionBotと同じEditorシステム内でSurveyをトリガーします。

このアクションタイプでは、ユーザーが会話中にActionBotに提供したデータとともに選択したSurveyを再生します。

サーベイの詳細についてはこちらをご覧ください

シャウトアウトを再生する

ActionBotと同じEditorシステム内でShoutOutをトリガーします。

このアクションタイプでは、ユーザーが会話中にActionBotに提供したデータとともに選択したShoutOutを再生します。

シャウトアウトについて、詳しくはこちらをご覧ください

シャトルを再生する

ActionBotと同じEditorシステム内でShuttleをトリガーします。

このアクションタイプでは、ユーザーが会話中にActionBotに提供したデータとともに選択したShuttleを再生します。

シャトルについて、詳しくはこちらをご覧ください

リソースを再生する

ActionBotと同じEditorシステム内でリソースをトリガーします。

このアクションタイプでは、ユーザーが会話中にActionBotに提供したデータとともに選択したリソースを再生します。

リソースについて詳細を学びます

ライブチャットを開く

このアクションタイプでは統合されたライブチャットモードを開きます。

ライブチャットの詳細についてはこちらをご覧ください

メニューを開く

ActionBotと同じEditorシステムからWalkMeメニューをトリガーします。

このアクションタイプではページ上で一般的なWalkMeメニューを開きます。

WalkMeメニューの詳細についてはこちらをご覧ください

接続を呼び出す

ユーザーが会話中にActionBotに提供したデータとともに外部APIをトリガーします。

通話接続の詳細についてはこちらをご覧ください

新しい会話を開始する

このアクションタイプでは現在の会話を終了し、新しく選択した会話を開始します。

新しい会話を開始する方法はこちらをご覧ください

データを保存する

このアクションタイプではActionBotを含むこのEditorシステム外のEditorシステムで共有、使用される会話データを保存します。 **データは10分間保存されます。**

ウェブ統合

このアクションタイプでは会話のユーザーデータを共有して、隣接するエディタシステムから指定されたスマートウォークスルーを自動化します。

通常WalkMeワークステーションのActionBotの実装に使用されます。

アクションボットウェブインテグレーションについてはこちらをご覧ください